

平成27年度 生活指導部 3学期分掌マネジメント

岩美町立岩美中学校

学校教育目標		校訓「みずから学び みずから鍛え みんなと生きる」を体現する生徒の育成									
重点努力事項		(1)質の高い授業を実践することによって基礎・基本の徹底と思考力・判断力・表現力の育成をバランスよく図り、自ら課題意識を持って反と高め合うことのできる生徒を育成する。 (2)あらゆる教育活動を通じて辛抱・我慢する心、困難に打ち勝つことのできる精神力、自己コントロールできる力を鍛え、強くたくましい心と体を育成する。 (3)人のために自分には何が出来るかを考え行動することが、最終的に自己理解や自分を大切にすることにつながることを実感させ、将来の進路選択への展望を持たせる。									
分掌重点目標		規則正しい生活習慣を定着させるとともに、ルール・マナー・モラルの向上と共生の精神を尊重する態度を育て、地域に貢献する意欲を高める。									
2学期 成果と課題 Do&Check	3学期への提言 Action	分掌がめざす 生徒の姿	分掌目 標 Plan	主な活動 Do	活動へ向けての努力事項 Do			到達目標	評価基準(Check)	成果と課題 Do&Check	来年度への提言 Action
					1月	2月	3月				
「学校がある日の放課後、1日にどれくらいメディアを見たり、使ったりしますか」2時間未満70%以上→60.8% メディア利用に関する課題点を保る項目を入れる。一実施済	情報機器の所持や使用のルールの有無がメディア利用時間と相関があることが分かった。3学期には生徒や保護者へ結果を返し、メディアとのつきあい方を考える資料にする。	<p>自明ル自人 他るし分を をいれを喜 価挨を大ば 値擲守切れ、 あ、りにし 存度マ、に 在あナ他役 とるし人立 しきををを をび身大自 美きに切分 感ひつにつ しけす好 、た・るき 共行も自な 生がら分生 きとの好 るれあき 仲るるな 間自自生 と分分徒 しがが 好活 きき 動な で生 き徒 る徒 る生 徒</p>	<p>〇〇〇 達ル規 成し則 感ル正 ・・し 役マい 立ナ生 活感、習 をモ慣 得ラと らル規 れの律 を活立定 動を着 めめさ 増ざす るす</p>	生活指導	・冬休み終了後の服装・頭髪指導 ・第三回生活振り返りアンケートの実施と集計分析 ・ネット利用に関して保護者への啓発活動	・生活振り返りアンケート分析後、生徒・保護者への啓発 ・学年末休前指導	〇ルール・マナー・モラルを守ろうとする意識のさらなる向上。 〇テレビ視聴時間やパソコン・ゲーム時間を自己管理できるようにさせる。	◇生活振り返りアンケート『服装・頭髪など学校のルールを守って生活できていますか。』の項目で、肯定的意見80%以上 『平日のTV視聴』2時間までが70%以上。			
〇食生活調査「朝食で主食・野菜・副菜がそろっている」28%以上→29.5% 「普段から苦手なものでも頑張って食べている」55%以上→48.5% 〇中学校保護者の親子クッキング参加2組以上→〇組	給食時間に栄養教諭が各教室を回って、備食指導を行う。 保護者啓発の手段として、食育だより・献立表を見やすくする工夫を今後も継続する。			食育指導	「全国学校給食週間」特別献立の実施 生活振り返りアンケート実施→分 給食時の指導、食育掲示の実施 献立表、食育だよりによる啓発活動	春休み中の食生活についての指導	〇健康と食事の関わりを理解する。 〇栄養の偏りなく食事しようすることができる。	◇生活振り返りアンケート「朝食を必ず食べる」87%以上			
「朝食をとる」96.3% 必ず朝食をとる生徒が増えている。 睡眠時間7時間以上46.2% 夜の歯みがき43% 6月に比べると数値は上がっているがまだ低い。	個別指導を継続して行う。保健員と連携して啓発を行う。 保健だよりで、睡眠、ゲーム等生活習慣改善の啓発を行う。			健康安全指導	・歯みがきの指導 ・手洗いうがいの徹底指導 ・教室の換気とインフルエンザ予防 ・「保健便り」による啓発活動 ・積習時の安全指導 ・町内保小中夜の歯みがき週間の実施 ・春休み中の健康安全についての指導		〇基本的な生活習慣が身につく。朝食を食べない生徒や就寝時刻の遅い生徒をさらに減少させる。	〇生活振り返りアンケート睡眠時間「7時間以上」が55%以上 「朝食をとる」が96%以上 〇夜の歯みがきが「3分以上長く」が65%以上			
〇生活振り返りアンケート「交通のルール、マナーを遵守することができた。」80%以上→76.4% 前回の64.5%よりは改善はみられる。	前回の結果より、改善の結果はみられるが、目標に達していないので、取り組みを今度も継続して行う。下校指導や、帰りのバス待たせの見回りなども計画して、行っていく。			交通安全指導	生活振り返りアンケート実施→分 登下校の交通安全啓発活動 放課後の下校指導(自転車通学、送迎の待機場所の見回り等)		〇進んで交通のマナーやルールを守れる生徒を更に増やす。	〇生活振り返りアンケート「交通のルール、マナーを遵守することができた。」評価する。きちんと守ることができた。80%以上			
〇全校教育相談アンケート「不安なこと等」65%以上。教職員質問紙「学校不応対策等」82%以上。新規不応対はあったが、教室復帰に向けて相談室でリズムを作っている。	3学期は新年度に向けての学期。新規不応対を未然防止するように生徒の状況把握に努めるとともに、相談室生徒等、心配な生徒へ新年度に向けて必要な力を付けていく。			不応対対策教育相談活動	・冬休み明けの生徒の実態把握と早期対応 ・不応対対策委員会による検討、共通理解 ・新年度に向けた、個々の生徒毎の実態整理と引き継ぎ準備		〇対象生徒の実態・課題を共通理解し、その課題等に合わせた対応をチームで行うことができる	◇3学期の新規学校不応対として不応対対策委員会で検討する生徒ゼロ人			
・89%計画通り、支援委員会、就学指導委員会等を実施することができた。	定期の会の計画を早めに行う。			特別支援教育	個別の指導計画に基づく支援の実 ・個別の教育支援計画、個別の指導計画の評価 ・来年度個別の教育支援計画・指導計画(案)の作成 ・第三回支援委員会(今年度の成果と課題) ・来年度に向けての引き継ぎ準備・まとめ		〇生徒の情報を共通理解し、個別の支援計画に基づいて、一人一人に対応した個別支援ができる。	◇対象生徒の学習状況を振り返り、来年度の指導計画を作成し引き継ぎの準備をすることができる。			
・「大切にされている」90%と達成できた。 ・「望ましい人間関係をつくること」90%と達成まであと少しであった。	・学習したこと、普段の生活とがなかなか結びつかない。授業の取り組みや内容等も考えていく必要がある。 ・周囲に対し自分から関われない生徒に変化があまりない。			人権教育	澤田美喜さんの生き方に学ぶ(2年生) 教科書無償の取り組みに学ぶ(1年)		〇人権・道徳の学習および学校行事への取り組みを通して、自信や充実感を持ち、自己を認め合うことができる。	◇生活振り返りアンケート『自分のことが好きですか。』の項目で、肯定的評価が全体で65%以上			
・2つの項目とも、80%に達く及ばない状況であった。意識を高めるような工夫や、集団としての目標設定を工夫していく必要がある。	掃除に対する意識が向上するような取り組みを、委員会で作る。(若狭カップや総取りで3年生が指導するなど)			環境美化	無言掃除・時間いっぱい掃除の徹底 ・環境緑化活動(卒業式に向けて) ・掃除道具の点検		〇積極的に清掃活動に取り組む生徒が増える。 〇はじめて緑化活動に参加する生徒数の増加	◇生活振り返りアンケート『節水・節電など環境を改善する意識を持って行動している。』の項目で、肯定的評価が全体で84パーセント以上			